

# TOWN TOPICS

## まちの話題

●身近で楽しい話題、  
明るい話題待っています。

広報こまつま 電話 32-3812



### 106歳の長寿 西又イノさん 逝去される

市内一の長寿者、西又イノさんが5月21日、永眠されました。生前の西さんのおおらかな人となりをしをしながら、心よりご冥福をお祈りいたします。



4/14

### 檜渚小学校児童が体験学習 タケノコの収穫を通して 地産地消を学ぶ

郷土の名産「タケノコ」の収穫を通して、自然に親しみ生産の喜びを味わってもらおうと、4月14日、檜渚小学校（竹内永子校長）の学校林等でタケノコ掘りの体験学習が行われました。参加したのは、同校4年生から6年生までの児童16名で、学校から500mほど離れた学校林と学校林周辺の許可をいただいた竹林で、刃狭（ハセバ）と言われる専用の道具を上手に使用してタケノコを掘りました。



額に汗をかきながらタケノコを掘る児童ら

40本）収穫。森下幸也君（同小6年生）は、一人で10本以上掘っていました。また、中には60cmの大物を掘った児童もいました。

収穫したタケノコを、1年生から3年生までの16名を含めた32名で学校まで運び、皮むきをして授業は終了。後日の給食でタケノコご飯として振る舞われ、児童らは旬の味覚を楽しみながら地産地消を学びました。

4/17~19

### 小松島手工芸文化フェスティバル 華やかな作品が勢ぞろい

第16回小松島手工芸文化フェスティバル（小松島手工芸文化協会主催）が、4月17日から19日までの3日間、ミリカホールで開催されました。

初日の開会式典では、主催者を代表して広野カズ子会長がいさつの後、オープニングを祝うテープカットが行われ、開場を待ちわびていた来場者が次々と入場しました。16回目を迎えた今年のテーマは「アジアの風」。

### 善意の寄付

◆4月16日

立江出張所の前所長である吉田彰さんが4月16日、市役所を訪れ、稲田市長に立江公民館1階に寄贈されたカーテン（18万円相当）の目録を手渡されました。吉田さんが所長時代に立江公民館のカーテンが古くなり損傷していたのを気にとめていて、お世話になった市役所のためにとの思いから今回の寄贈に至られたそうです。

◆5月7日

小松島手工芸文化協会（広野カズ子会長）が5月7日、市役所を訪れ、稲田市長に4月17日から19日まで行われた小松島手工芸文化フェスティバルが盛況であったことなどを報告され、小松島市の手工芸文化発展のため「ミリカホールの作品展示用パネルの購入費として使用して欲しい」と、チャリティーバザーの収益金の一部、5万円を寄付されました。

会場には、アートフラワー、タイルアート、レザークラフト、ガラス工芸、銀粘土、パッチワーク、くみひも、押し花、編み物、パンフラワー、かざら工芸、ガラスアート、木彫りなどの各教室に通う会員や一般参加者らの作品約1000点を展示。また、無料体験コーナー、お茶席、かもめ保育園児による合唱、二胡演奏、チャリティーバザーなどもあり、終日大勢の来場者で賑わいました。



作品を展示し華やいだ雰囲気の出展会場